

平成 25 年度医療サービス国際化推進事業  
事業名「日中歯科医療技術交流の推進事業」概要報告書

事業名	第 2 回日中歯科臨床技術研修（中日口腔臨床技能培訓）
目的	中国における歯科医療デマンドの急増に対して、歯科医師の質の向上に資するために、日中関係者の協力のもとに歯科臨床技術研修を実施する。
日時	2013 年 11 月 1 日（金）～ 2013 年 11 月 3 日（日） （午前の部）8：00～11：30 （午後の部）13：00～16：00
開催場所	首都医科大学附属北京口腔医院内 日中歯科臨床技術研修センター 住所：中華人民共和国北京市崇文区天坛西里 4 号
テーマ	CAD/CAM 臨床上の注意点について
実施状況	<p>11 月 1 日（金）は今回の研修担当歯科医師である首都医科大学口腔医院の温穎先生によるオリエンテーションに始まり、その後、温先生他 2 名の中国の歯科審美技術の著名な先生方による講義と実習が行われた（資料 1）。</p> <p>11 月 2 日（土）と 3 日（日）、日本からの六人部慶彦講師が審美補綴についての講義と実習を行った。一人の受講生の実習台の側に 1 台ずつパソコンが設置され、そこへ六人部先生のパワーポイントスライドを表示し、通訳は温先生が行い、補助通訳として今回の研修スポンサーである王皓先生がサポートを行った。実習教材は説明図が入った冊子が用意され、中国語に翻訳されたものを配布（資料 3）。</p> <p>期間中、研修生の意見を聞くためのアンケートを実施、回収。 最終日の講義終了時、ADF 理事長江藤一洋より挨拶があり、3 日間に渡るセミナーが終了した。</p> <p>研修後には国家衛生与計画生育委員会認定の継続医学教育点数 6 単位が受講者全員へ加算される予定であったが、今回は国家衛生与計画生育委員会への申請手続きは事後となり、後日ポイント加算がなされる予定である。数日前の北京天安門でのテロ事件で、2 名の地方受講予定者が欠席となった。</p>
日本側派遣講師	むとベデンタルクリニック院長 六人部慶彦講師
受講研修生	20 名
主催	首都医科大学北京口腔医院、一般社団法人アジアデンタルフォーラム
訪中メンバー	<p>&lt;スポンサー：クラレノリタケデンタルより&gt; 名倉氏、王皓氏、胡莉莉氏 計 3 名</p> <p>&lt;ADF より&gt; 江藤一洋理事長、河原氏 計 2 名</p>



実習風景



澤田講師からの具体的指導